

資料番号	6
------	---

令和7年9月11日
課名 地域政策局 平和推進プロジェクトチーム
担当者 担当課長(国際連携担当)西澤
内線 2466

被爆・終戦 80 年 #未来へのおりづるキャンペーン 2025 の 開催結果について

1 要旨・目的

本県の平和の取組への賛同者を拡大するため、核脅威イニシアティブ（NTI）（※）と協働して、SNSを活用したキャンペーンを実施した。被爆・終戦80年の節目でもある今年、大阪・関西万博の広島県ブース『RE:WORLD HIROSHIMA』（出展期間：8月5日～8月9日）にて、キャンペーン連携企画として「おりづるワークショップ」も実施した。

※核脅威イニシアティブ（NTI：Nuclear Threat Initiative）は、大量破壊兵器による破滅的な攻撃や事故を防ぐことを目的とした米国の非営利団体。

2 現状・背景

本県では令和3年から毎年広島・長崎から平和への祈りの輪を広げる「#未来へのおりづるキャンペーン」を実施しており、今年で5回目を迎えた。

3 キャンペーン概要

(1) 実施主体

広島県/へいわ創造機構ひろしま(HOPe)、長崎県、核脅威イニシアティブ(NTI)

(2) 期間

令和7年8月5日(火)～8月9日(土)

(3) キャンペーン内容

ア SNSの活用

おりづるを折って写真や動画を撮影し、各団体・個人のSNSアカウントから平和へのメッセージとともにハッシュタグ#CranesForOurFuture または #未来へのおりづる を付けて投稿する。



イ 大阪・関西万博の広島県ブース『RE:WORLD HIROSHIMA』での「おりづるワークショップ」

さまざまな平和への願いが込められた8色の折り紙から好きな色を選んでおりづるを折り、ブースの壁面にあるフォトスポットへ貼り付けて写真や動画を撮影し、個人のSNSアカウントから平和へのメッセージとともにハッシュタグ#CranesForOurFuture または #未来へのおりづる を付けて投稿する。

4 キャンペーン結果

(1) SNSにおける広がり

(推計値)

◆ハッシュタグ付きの投稿数	約 800 件
◆エンゲージメント数（投稿へのいいね、返信、リポスト等の数）	約 18 万 7 千件
◆インプレッション数（投稿閲覧数）	約 1,900 万件

※上記はFacebook、X(旧Twitter)、Instagram、TikTok、YouTubeの投稿合計（リールや動画を含む）。ただし、非公開アカウントは含まない。

※投稿者のフォロワー数をインプレッション数（投稿閲覧数）としている。

